

第1686号

7

2025年

ISSN 0039-4866

水産総合月刊誌 明治25年9月26日第三種郵便物認可 令和7年6月25日印刷納本
令和7年7月1日発行(毎月1回1日発行 第1686号)

水産界

◇ 大日本水産会第132回通常総会開催

◇ 2025 Seafood Expo Asia- Pacific (中国・大連)



大水総会で挨拶する枝元会長

ifia JAPAN、共同船舶がクジラ機能性アピール

母船式捕鯨の共同船舶(株)は、5月21～23日に東京ビッグサイトで開催された国際食品素材/添加物展(ifia JAPAN2025)に出展し、クジラに含有されるバレニン(アミノ酸)のサプリメントや鯨発酵調味料「鯨醬」などを紹介するとともに、所英樹社長がセミナーで鯨肉、鯨油の驚くべき生理活性機能について説明した。ナガスクジラの赤肉、皮の試食提供も行い、クジラは美味しく健康に良いことをアピールした。



講演する所社長

所社長によると、バレニン摂取による抗疲労、集中力及び睡眠の質向上が臨床試験で明らかになった。そこで寿命が延びないかを線虫で実験したところ、バレニン投与で生存率が高まる結果を得た。要因解明のため遺伝子解析すると、Sirt1遺伝子(長寿遺伝子)が発現することによって、老化抑制、若返りに効果があると示唆された。また、クジラ皮に多い油には、EPAやDHAより抗酸化力が高いDPAが含まれ、マウス試験ではその発毛、増毛効果が示された。鯨油は毛細血管の血流量をあげる遺伝子が発現、地肌を柔らかくする作用があり「現在、ヒトで試験中。間もなく結果がでる」と明かした。「鯨肉は元気で長生き、鯨油は肌ツヤを良くする。皆さんもクジラを食べて健康に」と呼びかけた。



共同船舶ブース



試食呼びかけ

ハラル食材PRも

その他、水産関係では、阿部長グループの(株)泰興商事サンリクフーズ(気仙沼)が、ハラル認証取得企業8社で構成された「ジャパン・ハラルショーケース」に参加。お笑いの吉本興業と共同開発した、サメ肉を主原料にタンパク質、DHA・EPAを豊富に含む「シャークウィンナー MeZAMe」をPRした。



泰興商事ブース